

外壁塗装の優良業者を見極めるチェックポイント

【HP・チラシ編】

チェックポイント	内容
<input type="checkbox"/> 近隣に『施工実績』はあるか	他の人も信頼して任せていることが分かります。また、その地域に合った提案をしてくれる可能性が高いです。
<input type="checkbox"/> 『事業所』は 1 時間圏内にあるか	遠いと交通費・出張費で金額が高くなる場合があります。近い方が対応も素早くしてもらえます。
<input type="checkbox"/> 『お客様の声』を多数公開しているか	他の人の実際の声を見ることができます。企業が改善や品質向上に努めている姿勢の証でもあります。
<input type="checkbox"/> 『社員の顔・経歴』が見えるか	自社職人かどうか分かります。紹介が一切載っていない場合、下請け業者に投げている可能性があります。
<input type="checkbox"/> 工事中の『管理体制』が整っているか	塗装は人の手作業です。職人以外の監督部門が二重チェックしているところが品質面で安心です。
<input type="checkbox"/> 『工事中の写真』を残してくれるか	工事中不在でも、足場で見えなくても、作業の様子が分かります。万が一の手抜きがないことが確認できます。
<input type="checkbox"/> 『アフターフォロー』が充実しているか	定期点検スケジュール、お手紙やハガキなど。今後も長い付き合いをしてくれるかどうか分かります。
<input type="checkbox"/> 『保証書』を発行しているか	必ず書面で保証をもらいましょう。口約束の保証はないも同然で、守られません。
<input type="checkbox"/> 『リフォーム瑕疵保険』登録事業者か	会社の品質・信用力が分かります。各会社の登録番号を載せている場合が多いです。
<input type="checkbox"/> 職人の『教育・研修』をしているか	定期的な研修が望ましいです。技術は日々進歩しています。マナーや身だしなみも重要です。

外壁・屋根塗装の満足度は、業者によって左右されてしまいます。

「適正価格」「高品質」「長い付き合いができる」の 3 点を特に重要視したチェック

リストにしましたので、見積依頼前後で確認しておきましょう。

【見積書編】

チェックポイント	内容
<input type="checkbox"/> 『㎡数』で算出しているか	坪数では正確な塗装面積が出せません。金額や材料の量が変わって、適正価格ではなくなります。
<input type="checkbox"/> 『塗料名』が明記されているか	メーカー名・商品名が必須です。塗料は日本国内でも何百という種類があり、金額やグレードが異なります。
<input type="checkbox"/> 『工程・項目別』に算出されているか	一式、という見積もりは避けましょう。細かい見積もりによって、正しい工程や作業内容に漏れが無いかわかります。
<input type="checkbox"/> 足場は『ピケ・クサビ式足場』か	単管足場は安いですが安全・品質面で問題があります。労働安全衛生法にも違反しています。
<input type="checkbox"/> 50 万円以上の『値引き』はないか	はじめから値引き前提の見積もりの可能性があります。また、本当に無理な値引きは品質を落とされてしまいます。

【対応・提案編】

チェックポイント	内容
<input type="checkbox"/> 『点検』に 60 分以上かけているか	事前に細かいところも見積もりに入れてもらいましょう。工事開始後の追加料金請求のリスクが減ります。
<input type="checkbox"/> 『説明』は丁寧で分かりやすいか	専門用語もかみ砕いて説明し、不明点には明確に答えてくれるところが良いです。説明不足によるトラブルを回避できます。
<input type="checkbox"/> 『複数の提案』を作ってくれるか	塗料の種類・耐用年数・金額などを見比べたうえで、ご自身に最適なプランを選択しましょう。
<input type="checkbox"/> 『家族や将来』を考えた提案をくれるか	「塗装は家を長期的に守るメンテナンス」という目線の会社か分かります。業者の都合を押し付けてくるところは NG です。
<input type="checkbox"/> 『連絡・対応』が一週間以上空かないか	連絡が遅いところは工事中もルーズな可能性があります。早めに連絡を入れてくれるところが安心です。

作成：ユーコーナビ